

しいの実

第26号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 5年環境学習

2月1日(水)に三重県地球温暖化防止活動推進センターと市防災危機管理課の方に出前授業を実施していただきました。

「森はどのような働きをしているのだろう。」という質問から授業が始まりました。森があることで動物の生態系が守られ、水を貯え土砂を保持することで自然災害を防ぎ、二酸化炭素を酸素に還元し地球温暖化を防いでくれています。しかしながら、現在は森林を開拓してしまったり、放置してしまったりすることでこれらの働きが維持できなくなっています。環境を守るために私たちに何ができるかについて考えました。

防災管理課の職員からは、地球温暖化に係わる気候変動により激甚化している自然災害から身を守る方法について教えていただきました。

メモを取りながら一生懸命考えていた5年生でした。



■ オンライン質問会

2月6日に鈴峰中学校と校区の4小学校の6年生がオンラインで交流しました。

目的は、中学校生活に向けての不安を少しでも減らすことで、順調なスタートを切れることを願いました。1月末に入学説明会があったのですが、その場で質問できなかったことやその後に疑問として出てきたことなどについて中学校の先生に質問しました。

学校生活のこと、部活動のこと、校則のことなどについて事前に質問を提出してあったので、答えについてもプレゼン資料を作成していただいてあり、大変分かりやすかったです。



■ 学校運営協議会

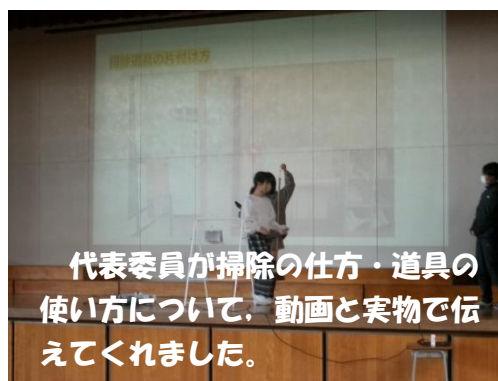
2月7日、本年度最後になる第6回学校運営協議会を開催しました。内容は、本年度の学校教育活動を振り返り、関係者評価をしていただくことでした。多くのご意見(特に「読書」と「あいさつ」)をいただきましたので、いくつか掲載します。詳しくは本校Webサイトをご覧ください。

- ・読書活動については、読書の楽しさを伝えることと満足感(面白い、新たな発見等)を感じられるよう工夫してほしい。
 - ・学力の基本の読み、書きの力を養うのが読書なので読書の習慣づけをお願いします。
 - ・子どもたちは活字離れの現状がある。ともすれば、親もそうであることも考えられる。
 - ・6月の研究発表会で授業を参観して、グループでの取り組みを見て子ども同士の関わり、子どもと先生の関わりが素晴らしく、課題に取り組む姿勢が良かった。
 - ・こちらが先あいさつにしないとしてくれないという印象がある。
 - ・あいさつについては起床して一番初めにかわす家族とのあいさつが基本なので、家庭の協力も必要である。
 - ・いじめアンケート等を有効に活用して早期発見に努めてほしい。
- などでした。いただいたご意見を来年度の学校経営に役立てていきたいと思えます。

■ 児童集会

冒頭の校長の話では、先日の学校運営協議会でも話題になった「あいさつ」について、「私としては、鈴西小学校の児童は、よく挨拶できると思うが、『あいさつが返ってこないことがある』という声も聞くのが残念。大きな声であいさつすることが苦手な人もいると思うので、そんな人は、相手に伝わるように会釈するだけでもいいのだ。」ということ。また、「会釈してくれるだけでも嬉しい。」という運営協議会委員のご意見を紹介しました。

もう一つ、本校は「まもってまってくれてありがとう運動」に取り組んでいます。これは横断歩道を渡るために停止してくれた車両の運転手に感謝の意を表すことで相手の方に「止まらなければ」「止まってよかった」という気持ちをもってもらうことを願っています。登下校時の子どもたちの様子を見てみると通学班の班長はお礼を言っていますが、他の子どもたちは素通りする場合が多いので、「班長さんだけのために止まってくれたのではないので、皆が感謝の気持ちを伝えて欲しい」ということを話しました。翌日の朝、早速、運転手に会釈をして感謝の気持ちを伝えようとする子どもが見られるようになったことは嬉しかったです。



3月の主な行事予定

3日(金)	六年生を送る会	17日(金)	卒業式
6日(月)	委員会	21日(火)	春分の日
8日(水)	地区別児童会	22日(水)	給食終了
10日(金)	避難訓練	24日(金)	修了式・離任式